

新刊紹介

○海南小記 柳田國男著

東京市外大岡山高工前大岡山書發行
定價參圓貳拾錢 四六版本文三七九頁

土俗の沿革が人文地誌の研究に重大な意義を有するのは、今更言を待たぬ事で、この方面に興味と造詣の深い著者が、嘗て旅行せられた九州東南部の諸島から、紬と飯匙儲で人も知る奄美大島を経て、沖繩諸島に至る間の島々の珍奇な土俗や傳説を、著者獨特の麗筆を以て、頗る面白く書き列ね、其間に著者の考説と批評との巧に織り込まれたものが、この海南小記である、先づ豊後、日向、薩摩のカライモ地帯に筆を起し、大島女の入れ墨、猪から『わのこ』の變遷、沖繩諸島の祭祀、婚禮の奇習、豆腐や屁の珍談に興祕湧くが如く、島の清水波む美女の神話から、艶物語に今古滾々として盡きざる情趣が味はれ、炭焼の黒夫から金色燦爛たる萬能長者の立身談は、陸奥の北端から沖繩の南端まで一貫して、本邦冶金鍛刀術の沿革に一道の光明を投げるのみならず、惰夫をも起たしむるの概があり、島の浦婆の清新なる風は、遊隊降神の靈境から、九重の雲上に及んで、其由來の古く神々しさを偲ぶに足る、著者は序文に『小さな味敷の記録に過ぎない』と自ら謙遜せらるゝが、體に海南諸島の土俗誌に一新機軸を開いたもので著者が、序文に、日本土俗誌の開拓者

するに非れば耕作に適せず、ローラー・キヤナブ運河の完成は二百萬畝の地を耕作可能ならしめ、ローラ・シエラム運河は四十萬畝ローラー・パリ・ドーブ運河は百五十八萬畝を耕作地に化しうべし小麦、大麥、米、玉蜀黍、豆、油種子、甘蔗、柿等を主産品とし小麦の産地も多く、家畜業亦行はる。

○第四十二回文檢地理科豫備試驗問題 大正十四年五月。

- 一、濃尾平野の人文地理を説明せよ。
- 二、アルプス山系の構造を概説せよ。
- 三、フランス・ベルギー・ドイツの地圖を描き、主要なる工業地域を記入し、且つ其の現況を説明せよ。
- 四、南アメリカの地圖を描き、植物帯を記入し、且つ之を説明せよ。
- 五、カナダの南部を東西に横斷する時は、人文地理上如何なる變化を目撃するか。
- 六、次の諸項を説明せよ。
戴頭河 (Behaded river) 雹及び霰 保護國 緩衝國
- 七、左の地につきて知る所を記せ。
汴洛鐵道 スピッツベルゲン (Spitzbergen)
南ローデシヤ (Southern Rhodesia) カワイテ (Cavite)
ナウエン (Nauun)

として、チエンパレン氏を推稱私淑せられた如く、讀者は著者を我海南土俗誌の鼻祖とするに吝でない事を信する。(石川)

○生物地學講話 理學博士 横山又次郎

早稻田大學出版部 大正十四年三月十日發行

定價參圓

横山博士の地學講話第一篇天文講話が出てから既に十六年、最初矢繼早に人文、海洋、陸文の三篇が續出して我地學の普及に絶大の効果を擧げられ、ついで氣界地學、今回は生物地學と出て、地學講話の完結を見るに至つたのは我學界にさり何たる悦びであらう、博士の地學全書凡十二篇、其中講話と稱するものが本篇を以て七篇で完了したのであるが、先生の滯滞せざる平易健行の靈腕は卷を繙くもの、興味を惹いて、不知不識に難解な天文學や地文學、人文學の問題を容易に學ばしむるの特色がある、本書收むる所五章六十節菊版一八六頁の中本であるが生物の分布法。移動と變化との結果。陸面の植物衣。有用動植物。何れの章も簡明な先生獨特の行文で誠に讀書の歡迎措く能はざるの好著である、經濟地理、人文地理などの基礎の觀念をつくる上に於て、敢て讀者の座右にすゝめる。(藤田)

○日本陶瓷史

今泉雄作 小森彦次著

雄山閣 大正十四年四月發行

定價五圓貳拾錢

陶瓷史の本領は其系統的鑑賞にあるが、予は地理學の立場から見て、日本陶器の發達の跡を知り、物産地理を教授する人々

の好參考として本書をおすゝめする、陶器の世界に於て最も發達したのは支那の宋窯以後で清朝の初期に其クライマックスに達した。北京武英殿陳列の逸品を見た眼で、日本の陶器を見るに到底及ばざるの遠いのを嘆ずるのであるが、しかし日本に於ても徳川時代に輩出した陶工の産出品には國産として恥かしからぬものが多い、この書によつて所謂名工の跡を學ぶことは蓋し無用の業でなく否修養の一端にもなるであらう。(藤田)

○地理教材研究第六輯

大正十四年五月日黒書店發行 定價貳圓

西田君の努力によつて教材研究は、早くも第六輯を上梓するに至つた、本輯は最初に長野縣の寒天業及び地理學的研究があるが、輯全體としては、都市研究號とも見るべきもので、西田君の都市地理研究の一般觀念がのせてあつて、其跡に名古屋、若松、基隆、金澤、仙臺、岡崎、宮崎の五市二港がすらすらと並んで編輯上に異彩を放つてゐる、いづれも其地方の人の手になつてゐる丈けに面白く讀まれる。其外長崎、鹿児島、千葉の水産に關した報告がまざままつてゐる。全篇二十六、いづれも有用の文字であるが、編輯に當つて都市號さか、海岸號さか、臺灣朝鮮の卷さかいつた風に分類排列されんことを望み、寄稿者に前以て依囑する方法を講ぜられたらばと思ふ望望の念にかられてかくは西田君に一言御願する。(藤田)